

こまざわ経済通信

発行
駒澤大学経済学部
同窓会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1

卒業おめでとう！

ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、コロナ禍という「思うに任せられない環境」の中で学生生活を乗り越えてこられました。正解がなく、先の見えない時間の中で得られた体験値は、必ず生きるものと思います。人類が文字を得て5000年、体験や思考によって得た知は学問として体系づけられ、次の学びの礎になってきました。そしてしなやかに生き抜いた人の手によって次の世代へと引き継がれてまいりました。皆さんが得たことは様々な言葉になり、学問を通して何世代も後の人の学びに結びつくものと思います。

言葉にする機会のひとつに同窓会があります。同期会の会員には社会の中で活躍している有為な人材が多数おります。それら会員の口を通して皆さんの体験を社会に発信することができます。是非、同窓会の活動にご参加いただき、皆さんの言葉で私達にも語ってください。一人が100回語るより、100人が1回語った方が大きな力を持ちます。現在、世界は厳しい現実と直面し、私たちの日々の生活に様々な影響が生じています。平和で持続可能な社会を築いていくために、皆さんが得た学びや知恵、力を活かしていただきたいと思います。

明日からは学生生活とは別な次元での暮らしがスタートします。世の中には正解といえる答えがない問題が山積みですが、私達同窓生が一緒になって考え行動して、世に貢献していこうではありませんか。皆さんもその仲間です。そして、学部生の学びの支援や駅伝をはじめとする大学スポーツの応援を共にしてまいりましょう。

経済学部同窓会では、経済学部ゼミナール連合会主催の学生シンポジウムを後援するなどし、学ぶ場への支援も行っています。同窓会活動の原資は、会員皆の互恵の絆に他なりません。絆を深め合うことを願って同窓会からのお祝いの挨拶と致します。



経済学部同窓会会長
大場やすのぶ

経済学部同窓会会長 大場 康 宣

毎年記念講演と懇親会を実施する旨のお知らせ

記念講演と懇親会は同窓会の毎年行事として本年も開催されます。

商経学部・経済学部のすべての卒業生に開かれたイベントです。

お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

(詳細は『経済通信』第53号、2024年10月発行予定、でご案内致します)

第10回経済学部同窓会総会開催される

経済学部同窓会第10回総会が12月2日（土）に深沢キャンパスで開催された。

前回の総会はコロナ禍ということで書面総会だったが、今回は対面では2017年以来の6年ぶりの総会になった。総会は事業報告・会計報告が承認され、続いて次期の事業計画（案）・新役員（案）が審議され、活発な議論の結果、原案通り賛成多数で議決された。

来期の事業計画としては

<学生支援として>

- 経済学部総合球技大会への支援
- 経済学部ゼミナール連合主催の学生シンポジウムへの支援
- 経済学部同窓会会長賞の授与

<会員相互の交流・親睦>

- 同窓会会報「こまざわ経済通信」発行
- 総会・記念講演・懇親会の開催

コロナ後のはじめての同窓会イベントとして参加者の増加を期待しましたが、私たち役員の力不足で想定を下回ってしまいました。今回の審議の中で沢山の声を頂きました。可能な限り取り入れたいと考えています。



記 念 講 演

「SDGsで社会と企業は変わるか」

駒澤大学名誉教授 小栗 崇資

総会に続き、駒澤大学経済学部名誉教授の小栗崇資氏が「SDGsで社会と企業は変わるか」と題して熱弁を振るった。小栗氏は新たな会計学を探求するなかで、SDGsの研究の必要性を痛感し、SDGsの研究を始めたところを「キッカケ」を説明された。

講演では、SDGsの歴史と課題・目標について解説、続いて国連が2023年7月に発表した報告書が「SDGsのターゲットのうち「順調に推移している」と評価されるのは15%にとどまり、2015年の基準よりも後退している」と指摘したことに触れ、SDGsの達成は危機に陥っている。人類の「生か死か」は今後の取り組みに掛かっている。特に日本は遅れていることを非常に憂慮している。気候変動への取り組みは、SDGsの目標の17のうち「貧困をなくそう」「飢餓をなくそう」「住み続けられる街づくり」など多くの目標と深く関わっている、と指摘した。また、その気候変動の取り組みを中心に、先進的な欧州と遅れている日本との違いを解説され、今後の日本が欧州をキャッチアップするには「行政の横断的組織による司令塔」の「さらに企業のRE100に参加するなど、積極的な取り組み」が必要と指摘した。

今後の社会と企業の変革のための多くの示唆に富んだ講演であった。



懇親会

総会、記念講演に続いて懇親会が開催されました。はじめに、番場経済学部長のご挨拶で40年ほど前の大学付近の懐かしい様子についてお話がありました。その後、食事・飲み物を取りながら多くの方がマイクを握り、自己紹介、昔話、近況報告や箱根駅伝の祝勝会の参加募集などの紹介などもありました。懇親会を通じて、参加者同士のコミュニケーションが活発化し、相互理解が深まったと考えられます。

余興として、Rhia Studioのリーアさんとそのスタジオメンバーによるベリーダンスと簡単なレクチャーがあり、大いに盛り上がりました。

帰りに「とても楽しかったですよ!」と声をかけて会場を後にした同窓生がとても印象的でした。次回の懇親会でお会いできることを楽しみにしています。



第10回 総会議案書

1. 事業報告（令和2年10月1日～令和5年9月30日）

(1)経済学部同窓会総会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して、第9回総会を令和2年11月に書面決議により実施した。

(2)経済学部の教育に対する支援

経済学部ゼミナール連合主催の学生シンポジウムに対して後援を行った。開催日は2021年11月20日（土）、2022年11月12日（土）。

(3)経済学部総合球技大会への支援

経済学部総合球技大会に対して後援を行った。開催日は2022年6月11日（土）。

(4)新図書館建設事業基金への寄付

大学創立140周年事業の新図書館建設に10万円の寄付を行った。

(5)経済学部同窓会長賞の授与

同窓会は卒業式に学業、人物ともに優れた学生を表彰し、学生の勉学意欲の向上に努めており、経済学科、商学科、現代応用経済学科の各3名の学生に賞状と記念品を授与した（2021年3月卒業、2022年3月卒業、2023年3月卒業の学生が対象）。

(6)卒業生への入会案内

卒業式当日、卒業生会員に入会案内を配布し入会を勧誘した。

(7)同窓会報の発行

同窓会報「こまざわ経済通信」を発行した。

発行した号は、45号（2020年10月）、46号（2021年3月）、47号（2021年10月）、48号（2022年3月）、49号（2022年10月）、50号（2023年3月）。

(8)役員会の開催

役員会を毎年3～4回開催した。同窓会報の編集・発行業務、総会運営、経済学部の支援、組織の充実発展等について審議決定した。

2. 会計報告及び監査報告（令和2年10月1日～令和5年9月30日）

令和3年9月30日現在 会計報告

R2.10.1～R3.9.30

収入		支出	
前期繰越	2,176,848	通信費	3,150
会費・寄付	703,000	印刷費	373,270
利息	14	記念品	14,850
		ソフトボール大会援助金	0
		学生シンポジウム補助	0
		消耗品費	4,242
		手数料	2,420
合計	2,879,862	合計	397,932
		次期繰越	2,481,930

残高明細

ゆうちょ銀行	703,000 円
みずほ銀行	1,776,314 円
小口現金	2,616 円
合計	2,481,930 円

令和4年9月30日現在 会計報告

R3.10.1～R4.9.30

収入		支出	
前期繰越	2,481,930	通信費	1,410
会費・寄付	558,000	会議費	3,430
利息	13	印刷費	286,797
過年度修正収入	1	記念品	11,457
		ゼミ連合球技大会支援金	19,599
		学生シンポジウム補助	0
		新図書館建設への寄付金	100,000
		消耗品費	2,995
		手数料	41,019
合計	3,039,944	合計	466,707
		次期繰越	2,573,237

※過年度修正収入は、前年度会計における利息1円の計上漏れである。

残高明細

ゆうちょ銀行	1,261,000 円
みずほ銀行	1,284,091 円
小口現金	28,146 円
合計	2,573,237 円

令和5年9月30日現在 会計報告

R4.10.1～R5.9.30

収入		支出	
前期繰越	2,573,237	通信費	250
会費・寄付	576,000	会議費	15,060
利息	18	印刷費	322,947
		記念品	14,650
		消耗品費	7,283
		手数料	21,124
合計	3,149,255	合計	381,314
		次期繰越	2,767,941

残高明細

ゆうちょ銀行	575,835 円
みずほ銀行	2,173,722 円
小口現金	18,384 円
合計	2,767,941 円

監査報告書

駒澤大学経済学部同窓会

会長 大場 康 宣 殿

私監査人は、駒澤大学において令和2年10月1日より、令和5年9月30日までの各事業年度につき、提出された証拠書類並びに決算書に基づき、会計監査を実施しました。

監査の結果、いずれも適正にかつ正確に処理されていると認めました。

令和5年10月19日

監査 三 田 佳 男



3. 事業計画（案）

- (1)経済学部同窓会総会の開催
- (2)経済学部総合球技大会への支援
- (3)経済学部ゼミナール連合主催の学生シンポジウムへの支援
- (4)経済学部同窓会長賞の授与
- (5)同窓会報「こまざわ経済通信」（年2回）の発行
- (6)役員会の開催
- (7)その他、本会の必要とする事業

4. 次年度次々年度予算案

令和5-6年度 予算書(案)		
(収入の部)		
科 目	予 算 額	適 用
前年度繰越金	2,767,941	令和4-5年度繰越金
年会費	400,000	
寄付・援助金	400,000	
雑収入	20	預金利息等
合計	3,567,961	
(支出の部)		
科 目	予 算 額	適 用
会議費	50,000	役員会・各種委員会、第10回総会経費含む
通信費	10,000	経済通信郵送料等
印刷製本費	500,000	経済通信(第51・52号)印刷費等
支払報酬料	150,000	経済通信原稿料、第10回総会記念講演料等
球技大会支援金	100,000	学部企画事業への支援金
シンポジウム補助費	100,000	学企画事業への支援金
記念品費	50,000	学部卒業生記念品等
広告費	50,000	
雑費	10,000	
消耗品費	20,000	第10回総会経費含む
支払手数料	250,000	第10回総会・記念講演終了後の懇親会費含む
その他	50,000	
次年度繰越金	2,227,961	
合計	3,567,961	

5. 役員選出

第10期 経済学部同窓会役員・幹事推薦者 (案)

<役員・幹事>

会 長：大場 康宣

副会長：石塚武、友松憲彦、増田幹人、松本典子

相談役：谷敷正光

監 査：三田佳男

<部会担当者>

総務部会：幸野保典、柚木駿一

催事広報部会：石塚武、北澤文彦、小出完爾、櫻井等、増田幹人、松本典子

財務組織部会：小谷野浩治、廻昌裕

★ 経済学部ゼミ対抗球技大会 ★

執筆者：湯本 大智（経済学部 商学科 2年 北口ゼミ）

2023年11月16日に球技大会が玉川キャンパスで開催されました。その日はとても天候が良く、快晴の中でフットサルが行われました。参加ゼミ数は18ゼミで、約230名の学生が参加して大いに盛り上がりました。試合は1試合15分、1ゼミ5人の男女混合で、女性が不利にならないように男性がゴールしたら1点、女性がゴールしたら2点というルールで行われました。本当に男女混合での試合で大丈夫か不安がありましたが、積極的に女性も参加して、皆が楽しめる球技大会となりました。試合結果については、優勝-井上智洋ゼミ、準優勝-山中達也ゼミでした。

私たちのゼミの試合内容としては、拮抗した試合内容が多かったです。試合をする前は、私自身を含めてフットサル初心者が多かったため、相手チームに勝てるのか不安な気持ちがありました。しかし、そんな不安は杞憂に終わりました。私たちのゼミは、フットサル経験者を中心にゴール前までボールを運び、女性にシュートしてもらうことで大量に得点を得るという作戦をとりました。実際は、相手がなかなかボールをゴール前に運ばせてくれず、ゴール前に運んでも守りが堅く、なかなかシュートすることが困難でした。結果的に、1試合目は負けてしまいましたが、その後の試合ではうまく連携をとれるようになり、勝ちを取めることができるようになりました。女性がゴールしたら2点というルールをうまく活用できたおかげだと思います。他チームでは、女性のフットサル経験者がかなり活躍していたようです。

試合全体を通してけが人が出ることもなく無事に終わりましたし、とても楽しい球技大会となりました。2年である私は、3年の先輩方との交流の機会を深められ、良い思い出となりました。来年は新たに入ってくる後輩と仲を深められると思うと、次の球技大会を待ち遠しく思います。今回の球技大会に参加でき、本当に良かったと感じました。



令和6年の経済学部の人事について

令和6年3月には3名の教員が退職され、新年度には1名の教員が着任されます。

【定年退職】

堀 龍二 教授 (人的資源管理論)

【退職】(令和6年3月)

小倉 将志郎 教授 (アメリカ経済論)

西村 健 准教授 (オークション理論)

【新任】(令和6年4月)

大津 健登 教授 (アジア経済論)

－ 同窓会事務局からのお知らせ －

1. 同窓会組織の強化にご協力ください

同級生、ゼミやサークルの仲間、地域のお知り合いで「経済学部同窓会」に加入していない方がおられましたらご紹介ください。未加入の方に事務局から入会案内をお送りします。

2. 「こまざわ経済通信」の原稿募集

同窓会報の充実のため原稿を募集しています。積極的なご投稿をお願いいたします。

- ・ 論題：自由
 - ・ 字数：800字以内
 - ・ 送付先：駒澤大学経済学部同窓会事務局 (下記)
- 原稿の採否は事務局にご一任ください。

3. 役員を募集しています

ボランティアで同窓会の仕事をしていただける方を募集しています。軽い仕事なのでご負担になることはありません。仲間と楽しみながら、同窓会と経済学部の発展ために貢献できます。有志の方は事務局までご連絡ください。

4. facebookの公開グループにご参加ください

経済学部同窓会の公開グループ (<https://www.facebook.com/groups/komakei.obog/>) が活性化しています。同窓生の情報発信や情報交換の場としてご利用ください。

5. 経済学部ホームページがリニューアルしました

経済学部と同窓会のホームページがリニューアルしました。ぜひアクセスしてみてください！

駒澤大学



<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

経済学部



<https://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/economics/>

経済学部同窓会



<https://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/economics/alumni.html>

経済学部同窓会事務局 (経済学部事務室)

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 電話：03-3418-9343